

1999 年度 11 校プロジェクト研究発表会

大阪教育大学附属学校園情報ネットワーク推進プロジェクト

私たち 11 校プロジェクト（大阪教育大学附属学校園情報ネットワーク推進プロジェクト）では、附属学校園のインターネット接続およびその教育利用のために、95 年度より研修や会議を重ねてきました。現在すべての附属校園が専用線で結ばれ、インターネットや情報機器を利用した教育研究が試みられています。

この研究発表会は、96 年度、97 年度につづく 3 度目で、インターネットや情報機器を利用した教育実践について、各附属校園における取り組みを発表するものです。附属や大阪教育大学関係者のみならず、インターネットに関心をお持ちの教育関係者の参加をお待ちしています。

日時

2000 年 3 月 30 日（木） 13:00 ~ 17:00

場所

大阪教育大学柏原キャンパス情報処理センター内ネットワーク実習室

対象

インターネットと教育について関心をお持ちの教育関係者

主催

大阪教育大学附属学校園情報ネットワーク推進プロジェクト

発表題目（仮題）及び発表者

題目	発表者	要旨
『インターネットと教育』フォーラム 2000 の報告	大阪教育大学 越桐 國雄	2000 年 3 月 11 日に早稲田大学で開催されるインターネットと教育フォーラムの内容を簡単に紹介し、今後のインターネットの教育利用の動向を考えます。
4 歳児のごっこ遊びにおけるコンピュータとのかかわり	附属幼稚園 橋之爪美砂	友達と一緒にコンピュータから流れてくる音楽を全身で楽しんだり、画像を見るだけでなく、それに合わせて体を動かして表現したりしながら、こっくにコンピュータを取り入れて遊ぶ幼児の姿から、4 歳児とコンピュータとのかかわりを振り返る。
知的障害者のコミュニケーションの拡大を目指して	附属養護学校 金森 裕治	ワープロ実務検定、テレビ会議等を通して文字やことばによるコミュニケーションの拡大を目指した実践事例。
何を、何のために、どのような手段で伝えるのか ～情報メディアの有効利用を探る～	附属池田小学校 渡辺 信行	様々なメディアを利用して、情報が送受信される今日、本当に有効な活用がなされているのか、実際にあった教育活動の中でそれらについて振り返ってみたい。
5 年生の熊本大学附属小学校との交流学習の報告	附属平野小学校 河南 方子	=ふるさとネットワーク= ～他の地域の友達との交流を求めて～ ホームページ作成、ファーストクラスによるチャット、ISDN 回線による TV 会議システム、などさまざまな手段を用いて、お互いの文化を紹介しあい、学び合う学習のあり方
6 年生のホームページ作成とオーストラリアとの交流	附属平野小学校 酒匂 雅夫	パソコンを利用したグループの活動についてファーストクラス上でメール交換をしようとしてうまくいかなかったこと、相手の学校を意識したホームページを作成したこと、相手に郵送するクリスマスカードなどを作ったことです。
電子メールを活用したドイツとの協同的学習	附属平野中学校 井寄 芳春	総合的学習の場で、電子メールを利用し、ドイツ・ギムナジウムと協同的学習を行った。
インターネットを使ったコラボレーションによる創作ダンス 「踊るこらぼ」	附属養護学校 三牧 紀代美 附属天王寺中学校 上田 学	両校ではこれまでに様々なかたちの学校間交流を行ってきた。今回は、養護学校の中学部、高等部の生徒が、同年代もしくは、近い年代の天王寺中学校と一つの事柄についてコラボレーションし、相互理解を深めていくことをねらいに取り組んだ。目的は次の通りである。 ・ 両校生徒の表現力の向上 ・ 活動を通じてノーマライゼーションの考えを共に深め合う。 ・ 交流教育の教育的意義を明らかにする。
HTML によるホームページづくり 中学校技術家庭科「豊かな住生活をデザインしホームページで発信しよう」の実践	附属池田中学校 今田 晃一	2 年生で取り組んだホームページ作りを実際の生徒作品を紹介しながら報告する。セキュリティ（小中高池田キャンパス内の公開）、情報倫理による生徒の変容について指導上の留意点を述べる。
生徒のメール利用実態	附属高等学校池田 友田 勝久	今年度から生徒全員にアカウントを与え、インターネットの自由な利用を認めている。その利用実態を報告したい。
プログラミングと数学とによる現実世界の問題解決、創作活動について	附属高等学校天王寺 大石 明德	教育内容「物体表面色の濃淡解析」「歪み線の解析」「文様の解析」を構築。いずれも、コンピュータと数学とを用いて行う問題解決あるいは創作活動であり、「数学への習熟」「現実世界・文化等と数学の関わり方の学習」を目的とするものである。これらの教育内容の紹介及び教育実践・実践について述べる。
音楽科における情報化 デジタルデータの活用 ノートパソコンによる創作学習・変奏曲からの発展	附属高等学校天王寺 諸石 孝文	音楽科の「情報化」に必要なのは、演奏活動という「情報」を公開することだと思われる。そのために、デジタルデータを活用し、ホームページを利用して、演奏録音等を「MP3」のファイルの形で生徒が演奏した合唱曲等を公開していくことを提案する。また、CD-ROM の形で録音を残していくことも有効な資料活用と繋がるであろう。
大阪における「教育の情報化」の現状と課題	大阪府立盲学校 中島 康明	

参加の申し込み

参加を希望される方は、FAXまたはメールでお知らせください。

・FAXで送信される場合

下の用紙に記入の上、附属高等学校池田校舎の友田勝久までお送りください。

大阪教育大学附属高等学校池田校舎 FAX 0727-62-1076

11校プロジェクト研究発表会参加票

11校プロジェクト研究発表会に参加します。

氏名	
所属	
専門(専攻)	
住所	
TEL	
FAX	
e-mail(ご自身の)	
その他(自己紹介など)	

・メールで申し込まれる場合

Subjectを「研究発表会参加希望」とし、

氏名、所属、専門、住所、TEL、FAX、e-mailアドレス、その他(自己紹介など)をご記入の上、

11校プロジェクト-ML fuzoku@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

までお送りください。

質問など

11校プロジェクト-ML fuzoku@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

までお尋ねください。